

# 支部における社会貢献活動

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／調査課長 幡豆英哉

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）の各支部では、それぞれの地域で開催される水環境や上下水道にかかわる各種イベントや社会に貢献できる活動に積極的に参加しています。

令和4年も、新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、イベントの多くが中止または縮小となりましたが、各支部が参加した社会貢献活動を以下にご報告致します。

## (1) 「水循環パネルの貸し出し事業」 北海道支部

北海道支部では支部で作製した水循環パネルを、毎年様々な会場へ貸し出しを行っています。令和4年度は、5月24日～7月20日に「足寄町」、7月22日～8月12日に「新ひだか町」、9月7日～9月9日に「北海道」へそれぞれ水循環パネルをお貸しして、パンフレットを配布いたしました。足寄町では小学生の上下水道に関する授業で活用していただきました。新ひだか町では会場の新ひだか図書館博物館及び総合町民センターで水循環パネルの展示及びパンフレットの配布をしていただき、訪れた多くの方々に水循環への理解を深めていただきました。また、北海道では下水道の日に合わせて北海道庁1階ロビーにて開催された「下水道パネル展」で展示及びパンフレットの配布をしていただきました。



写真-1 足寄小学校での活用状況



写真-2 北海道庁での下水道パネル展 (1)



写真-3 北海道庁での下水道パネル展 (2)

## (2) 「広瀬川1万人プロジェクト～第32回 広瀬川流域一斉清掃～」 東北支部

開催日時：2022年10月1日（土）10：00～12：00

広瀬川1万人プロジェクトは、杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開しています。主な活動は、春と秋の年2回実施されている流域一斉清掃です。

2020年以降、新型コロナウイルス感染拡大により、年1回のみの開催でしたが、令和4年は3年ぶりに春・秋の年



写真-4 秋晴れの広瀬川で清掃活動する東北支部の皆様 (1)



写真-5 秋晴れの広瀬川で清掃活動する東北支部の皆様 (2)

2回の開催となりました。

水コン協東北支部が参加した秋の一斉清掃では、全19会場（昨年17会場）で1,400名（昨年1,072名）、集めたゴミは260袋（昨年220袋）になり、令和3年を上回る規模となりました。水コン協東北支部としては、今回で15回目の参加となり、会員15社（令和3年14社）から38名（同40名）の方が参加しました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

秋晴れの中、穏やかな流れの広瀬川を背景に、素晴らしいコンディションでしたが、令和3年と同様にみなさんゴミを見つけ出すのに大変苦労していました。このため、早い段階で清掃活動を終えていた方々もおりましたが、広瀬川が育ててきた自然に親しみながら、時間を有意義に活用していたようです。

水コン協東北支部では、これからも多くの市民が広瀬川に親しめるよう、流域の自然環境を守る活動に貢献していきたいと思います。

### (3) 第19回「身近な水環境の全国一斉調査」関東支部

「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと河川管理者が連携して実施する「全国水環境マップ実行委



写真-6 (株)日水コン中村様のご家族 (1)



写真-7 (株)日水コン中村様のご家族 (2)

員会」が主催して行う水環境の調査活動で、2021年の調査までに全国で延べ約12万2千人が参加しています。

19回目となる「身近な水環境の全国一斉調査」は、令和4年6月5日（日）《※世界環境デー（6月5日）》に実施され、東北支部（今年をはじめて参加）及び関東支部から会員会社11社及び本部事務局の社員とその家族の合計132名（大人99名、子供33名）が水質調査に参加しました。新型コロナウイルス感染拡大の中、本調査にご参加いただきありがとうございます。

調査地点は、参加者が生活されている地域の身近な河川・湖沼等の79地点で、COD測定と水辺の環境や動植物について観察を致しました。令和3年度は120名（大人87名、子供33名）、79地点で水質調査に参加しましたが、東北支部からも新たに参加があったことなどから、令和4年度は参加者が増えました。

毎年、参加された方あてに、この調査活動についてのアンケートをお願いしていますが、参加された方からは「仕事柄、水環境に興味があるのですが、自ら川へ足を運ぶことはほとんどありません。「一斉調査」は水質調査だけでなく、生き物の観察をしたり普段触れることのない自然と向き合う良い機会となっています。子供たちは虫かごと魚網を持参し、張り切って参加してくれました。」などの嬉しい感想がお寄せいただきました。

(4) 第9回「出前授業」

中部支部

令和4年も新型コロナウイルス感染症対策を万全にして名古屋市立栄小学校の先生方と4年生の生徒さんのご協力を得て9回目の出前授業を開催することができました。

出前授業は総務広報委員が先生役となり、貴重な授業の1コマをお借りして「下水道の仕組み」や「使い方」を生徒さんに教える活動です。

出前授業の授業内容は2つあります。

1つ目は、写真-8のとおり、委員が下水道橋博士に扮してクイズ形式で下水道の仕組みや使い方をわかりやすく説明します。

2つ目は、「ようかい実験」(妖怪と溶解をもじったもの)で、別々のペットボトルにティッシュペーパーとトイレトペーパーを入れて一杯にシェイクして、どちらが水に溶けるか溶けないかを実験し、トイレにはティッシュペーパーを流さないよう勉強する授業です。(写真-9を参照)

この実験は体験型で結果もわかりやすく、毎年生徒さんには大好評です。

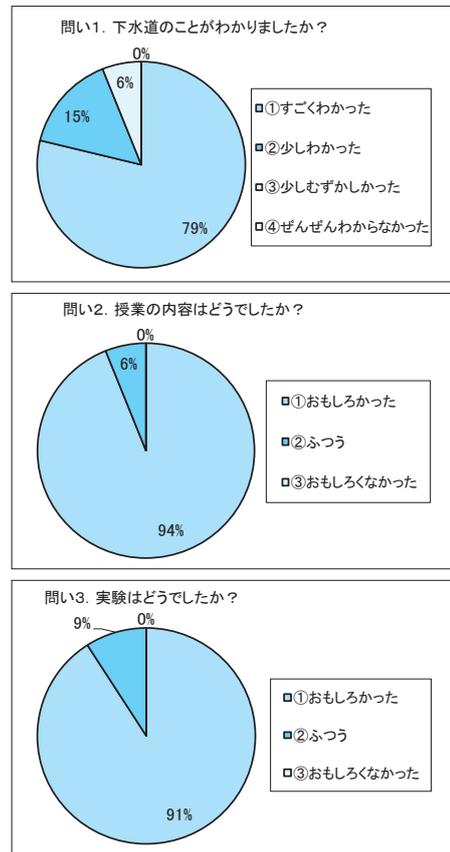


図-1~3 出前授業のアンケート調査結果



写真-8 出前授業の様子



写真-9 ようかい実験の様子

図-1~3のアンケート結果のとおり、令和4年の出前授業も大好評でした。

また、アンケートには生徒さんの感想も記入していただきました。その一例を次に示します。

下水道は理場でできない水をきれいに  
するやり方が分かりました。  
水は毎日の水がよめはつて雲になって雨が  
降った水が川の水になって流れることが  
分かりました。ようかい実験でティッシュ  
はとけるのでトイレにはティッシュ  
を流さないようにします。

社会勉強で分からなかったことやきせんに思った事が  
今日この勉強で理かいできました。  
実験のやり方やしゃべり方がすごく分かりやすいし、  
ティッシュは流しては行けないのもじっさい  
やってみたのですごく分かりました、クイズみたりな  
声かけなどがあると自分も考えようとする気持ちに  
まわりがわりとわかっていくところからできた  
ことをきっかけに自分で下水道の仕組みを調べてみたい

学校でならったことがもっと深くしれて  
うれしくてクイズでみんなはっで当て  
実験ではトレットペーパーは水にとけ  
てティッシュは水にとけないことがわかって  
お母さんお父さんにつたえてこれが流つて  
いこうと思いま

また、令和5年も元気な生徒さんにお会いできるのを楽しみにしています。

#### (5) 「下水道フェスタ'22」の開催中止 中部支部

中部支部では管内の富山県と愛知県の「下水道フェア」に毎年交互に協賛参加しています。

令和4年は9月10日の「下水道の日」に富山県神通川左岸浄化センターで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大しており、8月末においても感染状況が落ち着かないため、公益社団法人富山県下水道公社神通川左岸管理事務所のご担当者の方と代替イベント等の開催方法についても検討しましたが、残念ながら開催中止となりました。

2年後には富山県で開催できることを期待しています。

#### (6) 「水源涵養事業」の開催中止と来年に向けて

##### 中部支部

中部支部では東海地区の水源地域の1つである長野県木曾町において「水源涵養事業」に10数年継続して参加しており、水源涵養林の「枝打ち」等の作業を労働奉仕すると共に、作業を通じて水源の重要性や水のありがたみを体験することができます。

しかし、令和元年は木曾山中での豚コレラの感染拡大防止による水源林への立ち入り制限のため代替方法による開催となり、令和2年及び令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、平成30年を最後に開催ができていませんでした。

令和4年は10月15日に4年ぶりの開催に向けて木曾町役場建設農林課のご担当者と調整をしましたが、開催1か月前においても新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着かず、開催を断念いたしました。

しかし、各種イベントが開催中止のなか、少しでも前向きに進めるよう、水源涵養事業の覚書の更新確認と令和5年度の開催案等について、木曾町役場建設農林課のご担当者の方々とお話しすることができました。

打合せは地元木材を活用された新庁舎の打合せスペースで行いました。打合せスペースは一般の方にも開放さ



写真-10~11 木曾町新庁舎の外観



写真-12 木曾町新庁舎の内部

れており、木のぬくもりが伝わるすばらしい空間でした。(写真-10~12参照)

令和5年は水源涵養事業が開催できることを期待しています。

#### (7) 「ラブアース・クリーンアップ2022 inふくつ」

##### 九州支部

福津市が主催する「ラブアース・クリーンアップ2022 inふくつ」は、令和4年6月19日(日)に開催されました。



写真-13 九州支部集合写真



写真-14 活動状況 (1)



写真-15 活動状況 (2)



写真-16 活動状況 (3)

この事業は「地球環境と地域行動」の実践として市民・企業・行政が協力して、地域環境美化活動を実施することを目的としています。

会場は、福間・津屋崎海岸一帯で、散乱しているゴミ等の清掃作業を行いました。

令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、3年ぶ

りの開催で、参加人数を絞るなど感染予防対策を講じたうえで実施されました。

参加者の総数は1,057名で九州支部からは59名が参加しました。収集物は、可燃物、不燃物、ポリ容器等合わせて3,510kgあり環境保全の重要性を大いに認識しました。